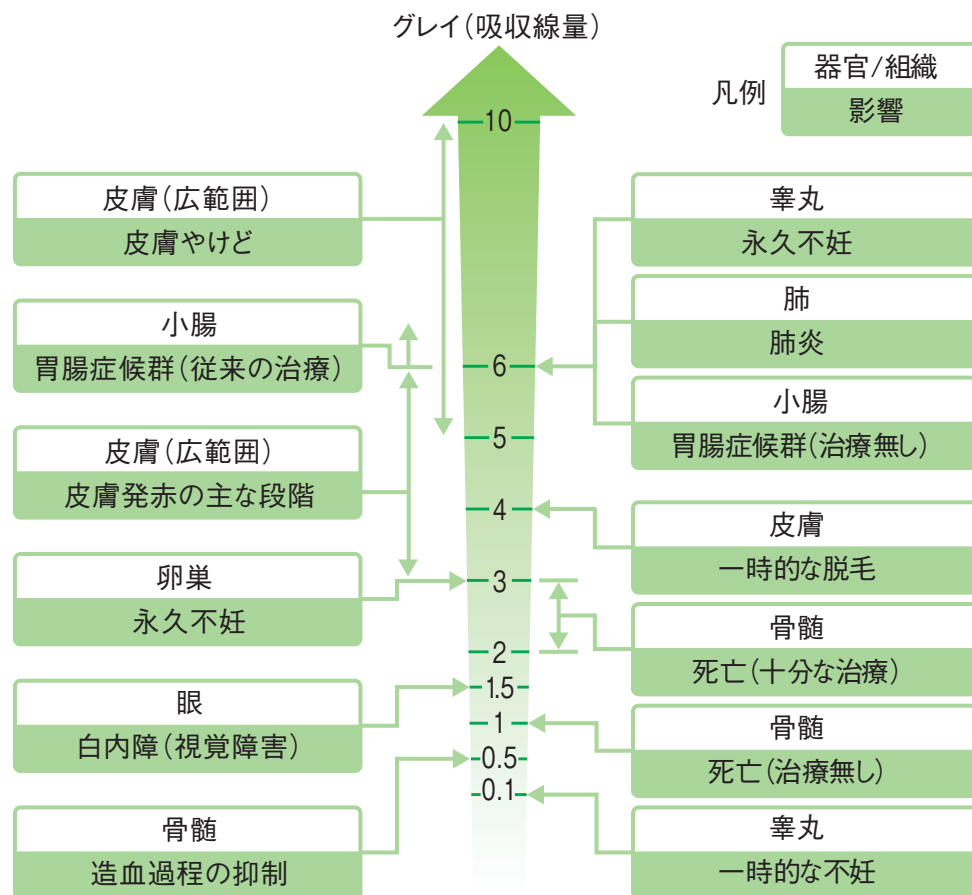


《放射線を受けた時の人体への影響》

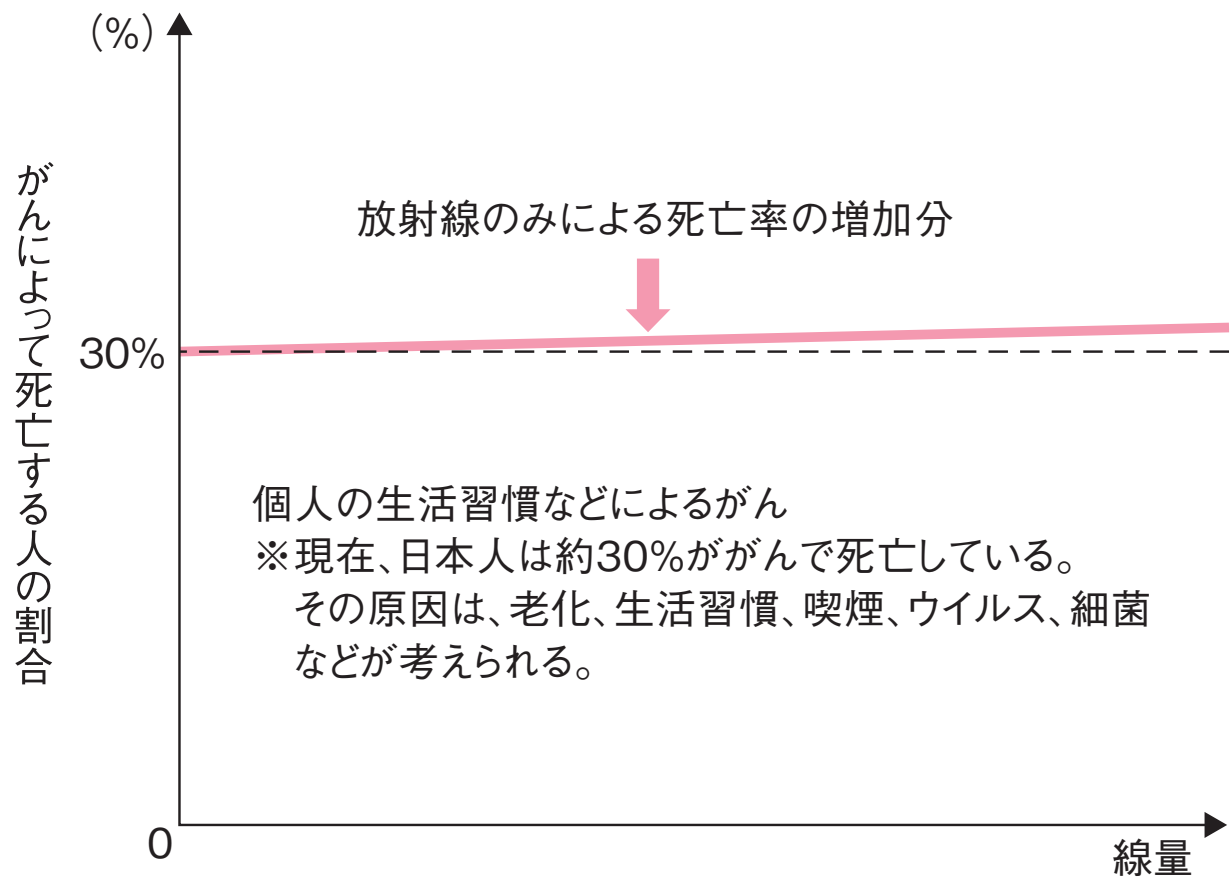
罹患率と死亡率が1%になる予測推定しきい値*



※しきい値:ある作用が反応を起こすか
起こさないかの境の値のこと

出典:ICRP Publication 103, 2007

《放射線によるがん・白血病の増加》



出典:(独)放射線医学総合研究所

《放射線と生活習慣によってがんになる相対リスク》

要因	がんになるリスク
1000～2000ミリシーベルトの放射線を受けた場合	1.8倍
喫煙 飲酒(毎日3合以上)	1.6倍
痩せ過ぎ	1.29倍
肥満	1.22倍
200～500ミリシーベルトの放射線を受けた場合	1.19倍
運動不足	1.15～1.19倍
塩分の取り過ぎ	1.11～1.15倍
100～200ミリシーベルトの放射線を受けた場合	1.08倍
野菜不足	1.06倍

●放射線は、広島・長崎の原爆による瞬間的な被ばくを分析したデータ(固形がんのみ)であり、長期にわたる被ばくの影響を観察したものではない。

●その他は、国立がん研究センターの分析したデータである。

※対象:40～69歳の日本人

運動不足:身体活動の量が非常に少ない 野菜不足:野菜摂取量が非常に少ない

出典:(独)国立がん研究センター調べ

《ガンマーフィールド》



ガンマーフィールド

(掲載ページ：教師用解説書P. 18)

写真提供・協力：(独)農業生物資源研究所放射線育種場